



「みんなでつくる安心安全なまち！ さいたま市は、セーフコミュニティに取り組みます！」



さいたま市は、世界基準の安心安全なまちづくりを目指して、WHO(世界保健機関)が推奨するセーフコミュニティの認証取得を目指します。

日常生活の中で市民の健康を阻害する要因としては、主に病気、ケガが考えられます。病気については、健康診断など予防に対する考えが進んでおります。しかし、ケガについては予防の概念が少なく、セーフコミュニティはこれらを予防していく手法として活用します。

セーフコミュニティの特徴

■分野の垣根を越えた連携

市民団体、企業、警察、市などで連携するネットワークを作りさらに安心安全なまちをつくります。

■データ(根拠)に基づいた取り組み

事故やケガのデータを活用して、より効果的な取り組みを行い、どのような効果が得られたか評価し、工夫をします。

■取り組みの評価、工夫



セーフコミュニティ 活動開始宣言！

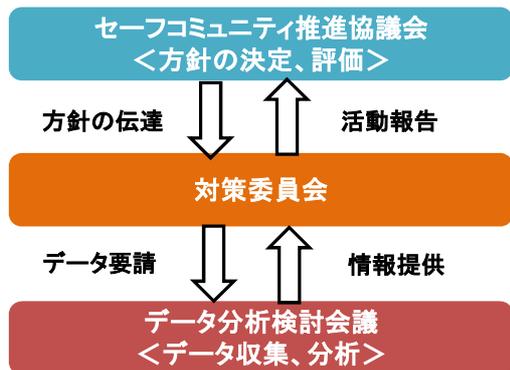


平成28年3月24日(木)に市長、副市長、関係局長、市自治会連合会長等で構成される「さいたま市セーフコミュニティ推進協議会」が開催されました。

先日、開催された「データ分析検討会議」で出た対策(案)について検討し、本市のセーフコミュニティは、①高齢者の安全対策②子どもの安全対策③自転車の安全対策④DV対策⑤自殺対策の5つの分野に取り組むことが決定されました。

また、市長から日本セーフコミュニティ推進機構の事務局長、今井 久人氏へ「さいたま市セーフコミュニティ活動開始宣言書」が手渡されました。

セーフコミュニティの体制



対策委員会の連携

